

最新鋭複合NC旋盤による 難切削材部品の短時間精密加工技術の確立



- 1 旋削機能に加え、マシニングセンターの加工、自動プログラミング機能という3つの機能を一体化した複合NC旋盤を導入。
- 2 ハステロイ、純チタン、特殊ステンレスなどの難切削材について、それらを精密加工する技術を確立しているメーカーは全国でも珍しい。
- 3 高い剛性が特徴の最新鋭複合NC旋盤の導入により、難切削材を短時間で高精度加工する技術の確立を目指している。
- 4 同社は、マシニングセンター、数値制御フライス盤などの国家検定資格を持つ技能士が、顧客の求める高精度加工に当たっている。

難切削材の高精度加工を実現する、全国有数のメーカーを目指す。

奥田精工は創業以来、半世紀近くにわたり、工作機械、射出成形機、産業機械の金属部品における精密加工技術を磨き上げてきた。近年には、非常に高温となる特殊環境下などで使用されるポンプ機器で全国有数の技術を持つメーカーが取引先となり、耐熱性、耐腐食性、強酸性に優れたニッケル合金、チタン合金、インコネルなどの金属加工を手掛けてきた。しかし、こうした金属は非常に硬くて加工が難しい「難切削材」であり、同社は高い技術を持つ熟練の技能士のノウハウで対応してきたものの、取引先の短納期

かつ高精度な加工への対応が課題となっていた。

そこで同社は本事業を活用し、難切削材の切削抵抗に負けない高い機械剛性を備えながら、高精度かつ短時間の切削加工が可能な「最新鋭の複合NC旋盤」を導入した。導入から2年、難切削材の高精度加工でリードタイム短縮を実現でき、現在では原子力発電関連産業など特殊環境下で活用されるポンプ部品を供給している。今後は難切削材の加工技術を確立した全国有数のメーカーを目指し、航空宇宙分野の部品など新規受注も狙っていく。

高精度な難切削材の加工で、 リードタイムを短縮。

複合NC旋盤を導入後、従来のNC旋盤に比べ、鉄、アルミニウム、さらに難切削材の加工で5〜30%のリードタイム短縮を実現。切削とマシニングセンター加工の工程集約も可能となった。

スピーディーな プログラミングも可能に。

今回導入した複合NC旋盤は、自動プログラミング装置付きの制御装置を搭載している。これまでは別室でのプログラミング操作に時間が掛かっていましたが、現場にいながら素早いプログラミングが可能になった。

ニッケルベースの合金などの 加工で、新分野を開拓。

本事業を通じて確立した、多様な金属の加工技術と短納期体制を強みに、ポンプメーカーからのさらなる受注拡大を目指す。また、ニッケルベースの合金などの加工を必要とする航空宇宙産業への新規受注も狙っていく。

ものづくり
専門員から
一言

最新鋭のマシンと
技能士の融合で、
付加価値ある展開を。

同社はこれまでもNC旋盤やマシニングセンターなどの高い設備能力を持ち、その稼働率も高い。今回の事業で導入した最先端の複合NC旋盤と、技能士が持つ熟練の技との融合により、さらに付加価値の高い金属加工サービスを展開できることを期待している。

こんな
会社です！

難切削材の加工という、 新たな選択肢を確立。

当社は創業以来、一貫して、お客さまの要求に応える金属部品の精密加工技術を提供してきました。今回の事業では、全国でも有数の難切削材の高精度加工技術という付加価値を強化することができ、当社の積み上げてきた精密加工技術に、新たな選択肢を加えることができた実感しています。今後は当社ならではの価値を見つめながら、コスト体質、品質管理体制の強化などを視野に入れ、さらにお客さまの要求に応じていく金属加工技術を磨き上げていきたいと思っています。



代表取締役社長
奥田博之さん



同社工場。NC旋盤9台、マシニングセンター9台が稼働している。金属加工専門メーカーで有数の設備力を誇る。



本社

株式会社奥田精工

代表者：代表取締役社長 奥田博之
設立：昭和52年7月（創業 昭和43年6月）
資本金：2,000万円
従業員数：14人
事業内容：各種機械部品加工（工作機械部品・射出成形機部品・産業機械部品など）
売上高：1億2,900万円（平成28年5月期）
〒916-0075 鯖江市漆原町21-5
☎ 0778-62-0639 FAX 0778-62-2265
URL <http://www.okudaseikou.sakura.ne.jp>
E-mail okudaa@car.ocn.ne.jp